

さけ・ます漁業振興事業調査 (抄 録)

佐藤 恭成・塩垣 優・中田 凱久・山内 高博・蛭名 政仁・小泉 広明・山田 嘉暢

1. 放流適期調査

青森県日本海岸の赤石川とその周辺海域において、河川と海域におけるサケ幼稚魚の成長、分布および移動に関する調査を行った。

2. 沿岸回帰親魚調査（年令組成等）

青森県沿岸の4定点においてサケ回帰親魚の測定を行い、年令と成長に関するデータを収集した。

3. 沿岸回帰親魚調査（成熟度）

青森県沿岸の4定点においてサケ回帰親魚の測定を行い、成熟に関するデータの収集を行った。

4. 日本海さけ回帰率向上対策調査

1. 青森県鰺ヶ沢町赤石川とその前面海域の日本海および津軽海峡において、サケ幼稚魚の分布、成長および移動に関する調査を行った。
2. 赤石川におけるサケ幼稚魚の分布密度は、4月中旬まで高く、4月下旬以降低くなっていた。海域での出現状況は、5月中旬まで分布密度が高く、水温13℃以上では分布密度は低かった。
3. 標識放流の結果、放流魚は放流後2時間で河口域まで達したが、放流個体のうち尾又長50mm以下の小型個体は、放流後20日までの期間河川に滞留していた。
4. 標識放流魚は、鰺ヶ沢沖、鰺ヶ沢漁港、小泊沖で再捕されたが、津軽海峡の今別沖での再捕はなかった。また、大型の個体はより早く北上移動する傾向が示唆された。
5. 標識放流魚は、放流後約40日間日本海海域に滞泳していた。
6. 1993年に引き続き、赤石川周辺海域で底刺網で漁獲された魚類の胃内容物を調べた結果、捕食が認められたのはヒラメ1個体のみであった。これらの魚類によるサケ幼稚魚の捕食は少ないものと考えられた。